

別府から全国へ！ 「オンパク」で地域資源を掘り起こす

NPO法人ハットウ・オンパク
野上 泰生

自己紹介

- **野上 泰生**
- **S40年別府生まれ別府育ち**
- **大学から東京 商社勤務**
- **家業の旅館を継ぐ為にH6年に帰郷**
- **H10年からまちづくり活動**
- **ミッションは、「別府の活性化」「まちづくりを生業にできる社会を創る」こと。**

紹介

- NPO法人ハットウ・オンパク
- H13年前身となる「オンパク実行委員会」
- H16年NPO法人化
- ミッションは、「別府の活性化」「まちづくりを生業にできる社会を創る」こと。



竹瓦を守る まちづくりの開始

- 「湯布院みたいにせんと いけんやろう？」
- 10年に「別府八湯竹瓦倶楽部」代表
- 竹瓦温泉の保存を目的
- 有名にして壊せなくする





路地裏散歩



夜の路地裏散歩



地域通貨「湯路」



路地裏文化祭

増えていく仲間

地域に広がる根っこ



サロン岸に集う仲間

「岸ママブログ」

見えてきた課題

- ・ 地域の人には地域を知らない
→ 知れば知るほど好きになる
- ・ 人は主役になると変わる
→ メディアの力を利用する

水口 民子さん

竹瓦温泉前でカフェTAKEYA経営
まちづくりに目覚め
若者のお世話
木造アーケードの保存
たみこの「夢弁当」



見えてきた課題

- 「どうして こんな すばらしいことを
もっと おしらせ しないのですか？」
- 「まちづくりはたいへんですね・・・」
- 「ワカモノ」「ヨソモノ」「バカモノ」
- 「関係」 x 「経済」 x 「環境」

**まちづくりは人を変える
人が変われば地域は変わる**

**まちづくりにはモデルがない
モデルを作ればすごい**

まちづくりを生業にしたい

オンパク

- ・ H13年に開始
- ・ 地域の多彩な魅力を体験交流型のプログラムを通じて伝える
- ・ 大型イベントの正反対をやる
- ・ 多くの人を主役にして変えていく
- ・ 地元こだわる

オンパク・ガイドブック



「オンパク」の役割

- ・ =地域づくりの取組を支援すること

地域資源
発掘して
活かす

地域人材
主役にして
育てる

地域経営
収益をあげ
持続する

「オンパク」の事業構造

- ・ 小規模で多様な「プログラム」
- ・ 地域人材である「パートナー事業者」
- ・ 地元住民による「会員組織」

多様な資源や人材を活かす地域経営の手段

オンパク・プログラム

- ・ 体験・交流イベント
- ・ 小規模なものが多い
（５－３０名）
- ・ 地域資源を活かす
- ・ 地域人材が主役

延べ
1500
種類

散策・地域文化体験プログラム



あらゆる取り組みの基礎となる活動

温泉体験プログラム



天然温泉力の
すごさを情報発信



食のプログラム



食による交流文化の提案

お出かけプログラム



広域連携により
周辺の地域と結びつく



美容サービスプログラム



個人を対象にした、エステプログラムなど

スポーツ・健康プログラム

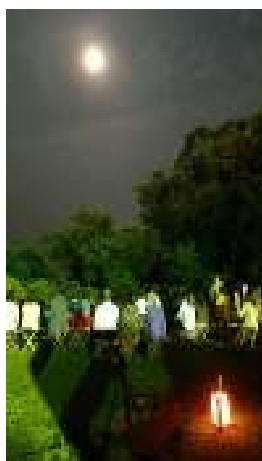


地域住民の為の
健康や趣味の
プログラム

カルチャープログラム



伝統文化の継承
歴史的空間の活用など



オンパク・パートナー

- ・ まちづくりグループ
- ・ NPO
- ・ 個人事業者や企業

200超
の地域人材
ネットワーク



河野さん
＝鉄輪温泉のまちづくり



高崎さん
＝朝見地域のまちづくり



はとこさん
＝文化の振興



永井さん
＝農村体験を通じた地域づく



林さん
＝温泉泥をビジネスに



山田さんチーム
＝宿の再生と日本文化



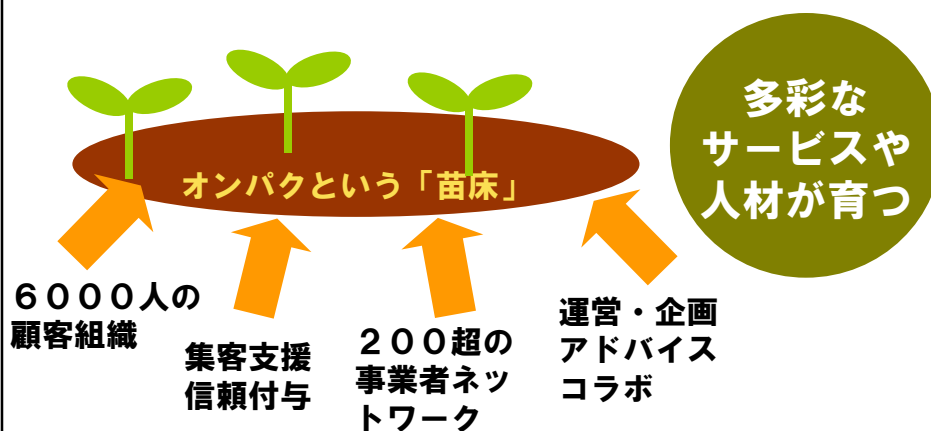
オンパク・ファン倶楽部

- ・地元住民リピート顧客層
- ・参加者の70%近く

地元住民を
中心に6千人
を組織



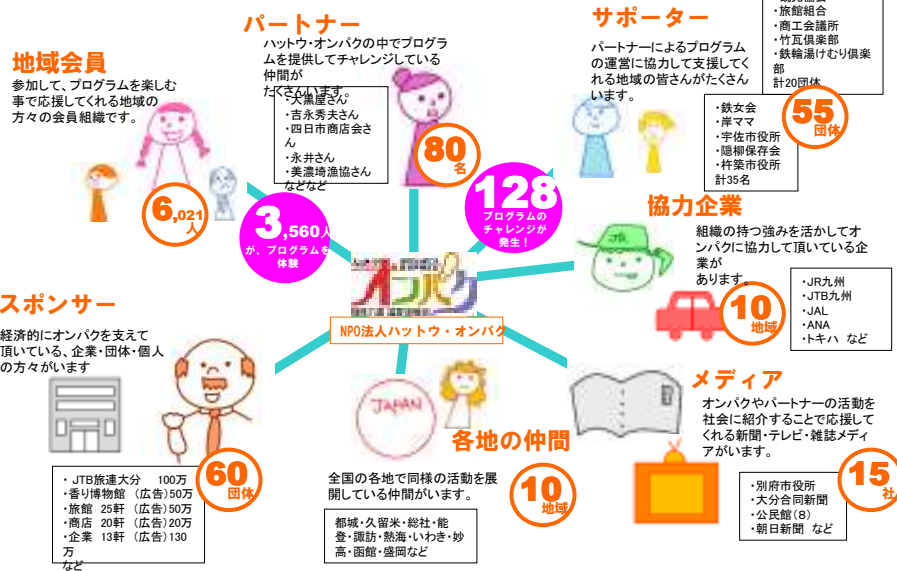
オンパクは地域の苗床になる



オンパク ステークホルダーマップ

2009年度春のオンパク

NPO法人ハットウ・オンパクの活動は地域の多くの住民・団体・企業から支えられています。



全国への展開 ジャパン・オンパク

目的

オンパクの事業ノウハウとシステム基盤の提供を通じて、「地域づくりを生業とできる社会」を実現する

地域

右図の8地域に加え、熱海・盛岡の計10地域の活動を支援中。



全国へ 岡山県総社の事例



総社の 加藤 せい子さん



全国へ 総社での成果

開催期間：9月27日から25日間
 プログラム数：15種類 のべ17回
 集客実績：定員294名に対し
 集客286名 97%
 集客地域：総社市内62%、市外38%

初回のみちくさ小道では、
 13のまちづくり組織が参加し、
 6の新規サービスのテストと、
 7の既存サービスのプロモーション
 が実施されました。

延べ41の地元事業者らが、個々の
 プログラムの開催に協力しました。

結果、地域資源を活かした商品開発や
 健康サービス、散策ガイド事業などの
 4つのコミュニティ・ビジネスの種が
 芽生えました。

参加者にも、とても好評でしたので、
 09年春の開催が決まりました。

この活動にかかった経費は人件費（約80万）を除くと、75万円でした。



全国へ 熱海



ジャパン・オンパクプログラム

- 各地でオンパク事業を主体的に行う人材をサポート
- 研修会、現地でのアドバイスによる理念・ノウハウの共有
- ウェブシステムなどの基盤の提供
- 連携・協働による価値の増大
- <http://japan.onpaku.jp> (H22.3月完成)
- H22年4月に社団法人化の予定

増えていくNPO内ベンチャー ～世界に出ていくオンパク



増えていくNPO内ベンチャー ～地域体験を贈るココロクルギフト

<http://gift.onpaku.jp>



増えていくNPO内ベンチャー ～市民が作る旅のプログラム



<http://jinetabi.onpaku.jp>

増えていくNPO内ベンチャー ～外国人個人旅行者を呼ぶ



<http://Beppu.SlowTripJapan.com>

若者が地域を変えるには

- **多様性（＝持続性）を確保**
- **組織＜ポジション　の確保**
- **走りながら考える**
- **合意形成はしない**
- **キャスティングボードを渡さない**

ありがとうございました

本日のプレゼン資料は日本財団公益ポータルサイト「CANPAN」から「オンパク」で検索して、ダウンロードしてください。